

整理番号	4-2	事務事業名	サイクルネットワーク構築事業	作成部署	企画財政部 まちづくり推進課	電話	内線 770	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	市川 洋一	課長職名	菅原 直臣	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	平成10年	根拠法令等						
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	札幌恵庭自転車道(内エルフィンロード)を軸として市内の各レクリエーション施設を結び、市内の地域の環境形成、交流ネットワークの形成にとどまらず、近隣の自治体へネットワークを広げていくことを通じ、広域的な地域の認知度やイメージ向上を積極的に進め地域振興に資する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力あふれるまち	(第 5 章)
	節	道路と交通	(第 3 節)
	施策	サイクリング・ネットワークの形成	(第 4 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市民・近隣市町村	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	札幌恵庭自転車道(内エルフィンロード)と市内自転車歩行者道とのネットワーク整備から、市内各地域へのネットワークの広がりや、近隣市町村へのネットワークの拡大等の構想を作成推進する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	札幌恵庭自転車道(内エルフィンロード)を軸としたネットワーク構想を作成。平成15年度は、市内のネットワークについて、庁内ワーキングにより作成。
		17年度	札幌恵庭自転車道(内エルフィンロード)を軸とした、市内のネットワーク構想と、道央馬追サイクルネット構想との連携について検討する。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	61	22	28	30
	合計	61	22	28	30
人件費 (概算)	人数(年間)	9,000	9,000	9,000	9,000
	1人当り年間平均人件費	0.07	0.07	0.10	0.10
	= ×	630	630	900	900
総事業費 +	691	652	928	930	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)					
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	現状においては、成果指標を設定することは困難				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	環境問題、健康志向が市民の間で意識として高まっていることから事業の推進については、妥当と判断される。今後、地域交流、地域の経済効果等を見極め、具体的な自転車道整備への道筋をつけることについては、現在の関連市町村の財政状況もあり足並みを揃えていけるかということも課題となる。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	構想の作成については、市が主導して取り組むのは妥当。ただし、国・道との連携や市民との協働は必要。	ネットワークの形成過程において、市民との協働で進める必要がある。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	環境問題、健康志向が市民の間で意識として高まっていることから妥当と判断される。	構想、基本計画等、段階を追って進めて行くことが肝要である。
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	他町村に関係するネットワークの検討であることから、たたき台等の設定については、現状の対応となる。	今後の検討の中で意見の把握や、協働について検討を要する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市町村間の幹線ルートについては、新規路線を含め精度を高める段階に来ているが具体的な整備については各市町村の整備前に、国や道の整備を優先させる方向で進める必要がある。	今後の検討の中で各市町村とネットワークの関連性等を明らかにし国、道への働きかけを強める。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	平成16年度道央馬追ネットにおいて地域資源活用構想策定支援調査を導入予定(不採択)	17年度再度調査費の国からの支援を仰ぎ、採択されることとなれば、道央馬追ネット構想の精度があがることが期待される。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市内ネットワーク構想については、国及び道に対し、整備の依頼や促進を働きかけるとともに、市道関連の整備について検討を進める。道央馬追サイクルネットワーク構想については、調査の採択を含め関係機関の協力の下に、構想の承認と実施を進めていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	今後とも札幌恵庭自転車道を軸に、市内ネットワークの構築や道央馬追サイクルネットワーク構想との連携について検討していく。